

Harley? No! That's a Chopper!!

Cruisin'

7月号臨時増刊

July 2010

5月31日発売 第12巻第5号

平成13年9月14日第三種郵便物許可

Another World of

Chopper

VOL. IV

Overseas Another Choppers
海外のアナザー・チョッパー。最前線

Fashion Catalogue
for Another Chopper Bikers
アナザー・チョッパーバイカーのための
ファッションカタログ

**Europe & Domestic
Chopper Exhibition**
ユーロ&ドメスティック
チョッパーエキシビジョン



アナザー・ワールド・オブ・チョッパー フォト・セッション
*Another World of Chopper
Photo Session with
MOONEYES*



前後21インチというホイールサイズに合わせ、絶妙なバランスで仕上げられたワンオフフレーム。車体には気品すら漂う。

ONELOW ROD&CUSTOM Black-Shadow

メタルの高級感を強調する美しき漆黒の車躰

文=渡辺まこと text by MAKOTO WATANABE 写真=HCC
取材協力=ワンローロッド&カスタム phone042-556-4516

カスタムの高い完成度、それを決定付ける様々な要素……それをひとつ、ひとつ羅列すれば様々な事柄が挙げられるのだろうが、ここに紹介するワンロー製作のマシンは、その手本と呼ぶべもの随所に散りばめられているといっても過言でない一台である。

たとえば人目をひくカスタムといえば、多くの人は派手なグラフィックやビレットパーツの装着などの手法を連想するのだろうが、しかし、このマシンは明らかにその対極といえる佇まいを見せている。ご覧のとおり決して派手な色づかいでも煌びやかなビレットパーツが装着されているわけではない。しかし、つぶさに見れば見るほど、何か見る者を惹きつける魅力が溢れているのが分かるだろう。

ソリッドの単色黒、しかし、それがこの車体の中で浮き立たせるのが随所に施されたメタルワークやギミックの数々であり、それらがワンローというショップの高い技術とセンスを見せつける結果に

繋がっている。これが派手なグラフィックであればともすれば車体の中で埋もれてしまう可能性も持つのだが、逆にこのマシンのように落ち着いた収縮色だからこそ、効果的に見る者の目に飛び込んでくることは写真からもきっと分かるだろう。

たとえば灯火類までがワンオフで製作されたという各部パーツの造り込みや、アメ車のリーフスプリングを流用したシングルシートのマウント、フェンダーのマウントやタンクに施されたメタルの造形などは、やはりシンプルな色遣いだからより際だたされたものであり、結果、マシンは高いクオリティを見せつけるに至っている。前後21インチというセットアップのホイールを違和感なく収めるべく、ワンオフで製作されたフレーム全体のバランスも絶妙だ。

HRC Sで数ある欧州車チョッパーの中で頂点に君臨した、今の日本のシーンの高いレベルを示す秀作である。

1. ワンオフフレームならではの流れるような曲線を描くこの一台。ソリッドなカラーが逆に各部パーツの美しさを際立たせる。2. ポップアップキャブや純正のデザインをモチーフにしたエンブレムなどワンオフパーツで固められたタンクと滑らかな曲線のハンドル。コックピット周りも絶妙だ。3. アメ車のリーフスプリングをシートサスやリアフェンダーのマウントなど細かな箇所もワンローならではの技が光る。4. キャブは純正アマルにワンオフのペロシティスタックを組み合わせたもの。5. リアは極細の21インチホイール。スプロケータ型ブレーキ、逆サイドのハブの美しさにも注目だ。6. オイルタンクはムーンアイズ製をポリッシュして装着。マシンによく似合っている。



